

支那文藝史
 第三冊
 一

Manufactured By Kamigishi, Kenohara Nakacho, Ueno Tokyo.

特別
 14
 2236
 22



特14

2236

22

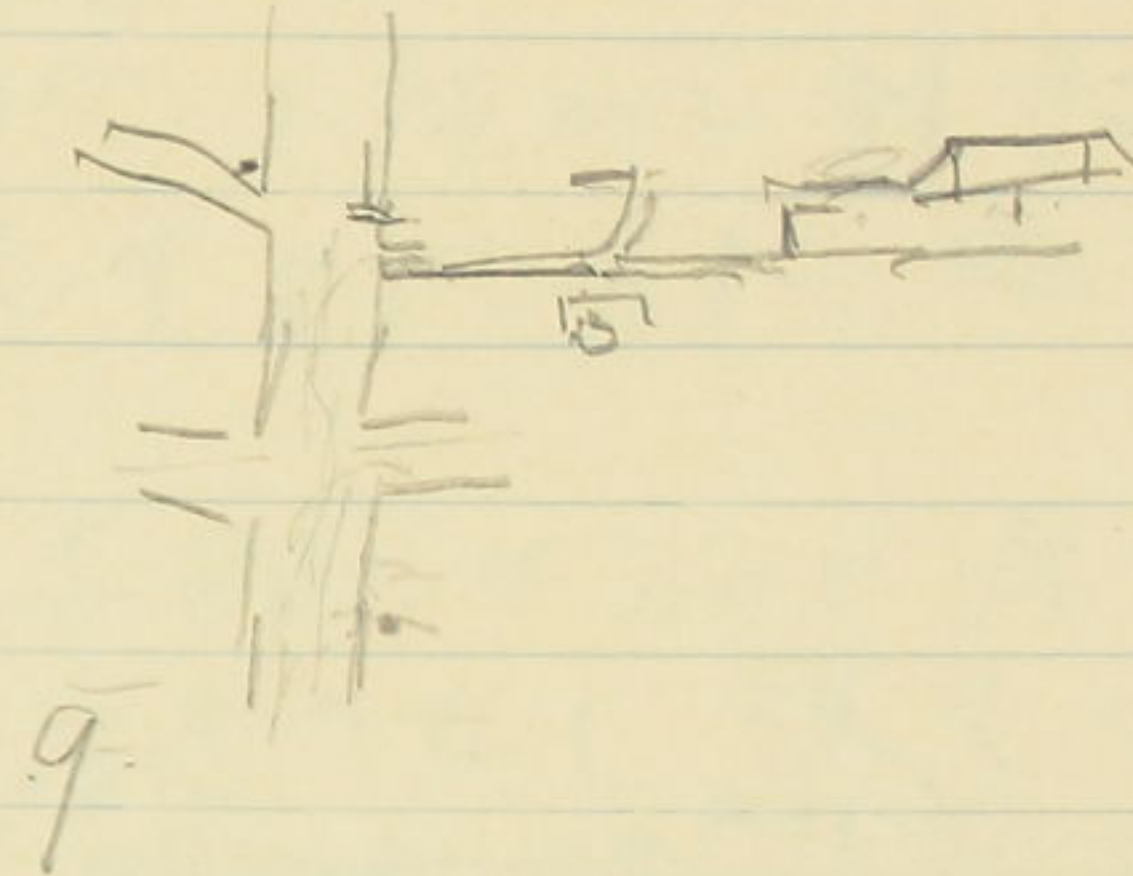
目次

緒言

一 文学史の定^義と支那文学史の範圍

二 支那文学の大勢

Fujimicho 5chome Kobanichi
Kojimachi





緒論

一文字の定并と支那文字史の範圍

支那文字史研究の必要は極めて多し
一に我々の文物と支那文字との關係
の深なるが爲に二に支那文字は所謂
東洋思想の精華籠^居りて之を以て
西洋の文字と比較研究が~~必要~~
~~あり~~又三に従来の支那
文字研究の極めて雜駁無秩序たるを
一洗するの爲に、~~各種~~の必要
あり

従来支那には殆ど譯された文字史
といふものなし漢文の藝文を始
とし^{隋朝の書籍}~~隋朝の書籍~~ ^{又宋の書籍}~~宋の書籍~~ 四庫
全書目錄等文字史の材料とすべし
ものは多けれども之を完全の文字史と
したるものはなし又日本にては經
典種の書籍をといふが如きもの
未だ乏しは亦他に見るべき程の
書無し之來之等の書籍を以て
Bibliography 又は Bibliology
といふべきものに之語の字風
即考証の字の範圍を屬すものと

より未だ文學史といふに足らぬ
文學史の範圍を定めには是つ
てその定より定めざるべからざる
又其方格に就ては單なる記録よりは
一階を意味ある文學史思想史の
一部と見て評論的歸納的に研究
せざるは多く其價值を失はる
文學の歴史といふに就ては概して
その流ありとも其に就ては原に著
述者著述者を中心としたる如
く作即人等の趣味を以て子をも
とある文學といふに止むべし
しに之に属するものを主とし
限ある限りは其時代の文學
界の一般を以てし

その二 支那文學の大勢

支那は三星五帝の現存マデ
年此の文學の用ヨリ其時マ
二行ニ傳ニ三千年ノ文學ヲ有ス
(大ニ國勢衰ヲ示ス)
是のつて其のやの今日ニ傳ル最

古也ハ孔子ノ著述ノ一冊ノリトイフ
ニ其範圍ヲ以テハ一國以上ノ文
アリ又周ニテハ五半即春秋後ニテハ
一國ヲ主トシ中央迄乃至地
方ノモノヲ兼テ作者ヲ包含ス
其形ハ四言ヲ主トシ一三言乃至五七
言ヲ兼テ用ニ粗トシ其形ヲ
不純トシ其骨ニ十ニ傳ルズ
下リテ後周ニ一終トシ詩十ク唯周未
天下ノ風氣漸ク秦漢統一天下ニ
移ラレトシ一當リ即楚ニ屈原出テ
雜騷ニ端ヲ備テ其形ヲ其ニ
一大ニ變ニ其形ヲ流シテ六朝
ノ詩體トシ又傳ニハ漢ノ左氏十
九看乃至相梁臺ノ詩ニ端ヲナシテ
五言七言ノ短詩漸ク生ズ六朝
ニ榮ヘ又布シテは二流ハ九層ニテ
唐ニ入リテは李杜ノ盛ニ於テは
其ノ詩ハ其ニ於テ大成セリ其後
其ニ於テハ一國ニ於テ其時ノ
風物種々トシテ其形ニ於テハ終
至ノ唐以外ニ生ラレモ其ニ宋ニ
詞體トシ其形ヲ其ノ生ゼニ

之、寧に戯曲に流し入る
次、散文、書中、漢曲、辭典、小説、
最古、元朝の周初、文字、其他
易中、元朝の~~見~~見、心得、~~せ~~せし比
之、~~事~~事、~~心~~心、~~云~~云、~~雅~~雅、~~元~~元、~~如~~如、~~て~~て、~~受~~受、~~し~~し
之、~~直~~直、~~文~~文、~~ノ~~ノ、~~久~~久、~~い~~い、~~て~~て、~~托~~托、~~生~~生、~~む~~む
之、~~周~~周、~~中~~中、~~葉~~葉、~~以~~以、~~後~~後、~~迄~~迄、~~留~~留、~~清~~清、~~子~~子、~~時~~時、~~代~~代、
代、~~他~~他、~~劫~~劫、~~伴~~伴、~~生~~生、~~む~~む、~~并~~并、~~純~~純、~~痛~~痛、~~漢~~漢、
乃、~~史~~史、~~傳~~傳、~~ノ~~ノ、~~文~~文、~~ナ~~ナ、~~リ~~リ、~~ス~~ス、~~漢~~漢、~~語~~語、~~ノ~~ノ、~~文~~文、~~ニ~~ニ、~~テ~~テ、
各家、~~妍~~妍、~~語~~語、~~ノ~~ノ、~~方~~方、~~中~~中、~~ニ~~ニ、~~モ~~モ、~~書~~書、~~用~~用、~~蓋~~蓋、~~花~~花、
韓、~~ト~~ト、~~稱~~稱、~~シ~~シ、~~史~~史、~~文~~文、~~ニ~~ニ、~~ハ~~ハ、~~田~~田、~~左~~左、~~氏~~氏、~~同~~同、~~類~~類、
ヲ、~~批~~批、~~シ~~シ、~~テ~~テ、~~左~~左、~~傳~~傳、~~子~~子、~~語~~語、~~亦~~亦、~~兼~~兼、~~ヲ~~ヲ、~~三~~三、~~史~~史、~~ト~~ト、
ハ、~~降~~降、~~ハ~~ハ、~~同~~同、~~馬~~馬、~~遷~~遷、~~史~~史、~~記~~記、~~ニ~~ニ、~~確~~確、~~漢~~漢、~~ノ~~ノ、
極、~~ヲ~~ヲ、~~至~~至、~~シ~~シ、~~班~~班、~~固~~固、~~漢~~漢、~~書~~書、~~以~~以、~~下~~下、~~漸~~漸、~~シ~~シ、~~乾~~乾、
~~燁~~燁、~~ニ~~ニ、~~赴~~赴、~~カ~~カ、~~リ~~リ、~~ニ~~ニ、~~但~~但、~~シ~~シ、~~史~~史、~~駢~~駢、~~ト~~ト、~~比~~比、~~シ~~シ、~~漢~~漢、~~武~~武、
ニ、~~大~~大、~~成~~成、~~ニ~~ニ、~~赴~~赴、~~カ~~カ、~~リ~~リ、~~ニ~~ニ、~~且~~且、~~文~~文、~~氣~~氣、
漢、~~ニ~~ニ、~~漸~~漸、~~シ~~シ、~~毎~~毎、~~ニ~~ニ、~~ト~~ト、~~氏~~氏、~~ニ~~ニ、~~所~~所、~~謂~~謂、~~ニ~~ニ、~~去~~去、~~大~~大、
駢、~~像~~像、~~ハ~~ハ、~~駢~~駢、~~漸~~漸、~~シ~~シ、~~行~~行、~~ハ~~ハ、~~斜~~斜、~~ヲ~~ヲ、~~媒~~媒、~~シ~~シ、~~テ~~テ、~~站~~站、
ヲ、~~ト~~ト、~~形~~形、~~ノ~~ノ、~~上~~上、~~ニ~~ニ、~~殆~~殆、~~ド~~ド、~~義~~義、~~ト~~ト、~~中~~中、~~ニ~~ニ、~~至~~至、~~シ~~シ、~~リ~~リ、~~蓋~~蓋、
表、~~ノ~~ノ、~~意~~意、~~ハ~~ハ、~~テ~~テ、~~外~~外、~~形~~形、~~ノ~~ノ、~~彫~~彫、~~琢~~琢、~~ニ~~ニ、~~流~~流、~~シ~~シ、~~ル~~ル、
結果、~~ト~~ト、~~イ~~イ、~~フ~~フ、~~ニ~~ニ、~~漢~~漢、~~ニ~~ニ、~~凡~~凡、~~韓~~韓、~~柳~~柳、~~出~~出、~~テ~~テ、
陳、~~宗~~宗、~~ニ~~ニ、~~改~~改、~~蘇~~蘇、~~出~~出、~~テ~~テ、~~ハ~~ハ、~~又~~又、~~古~~古、~~外~~外、~~様~~様、
セ、~~ラ~~ラ、~~シ~~シ、~~真~~真、~~ノ~~ノ、~~散~~散、~~文~~文、~~隆~~隆、~~盛~~盛、~~ヲ~~ヲ、~~極~~極、~~メ~~メ、~~リ~~リ

之、~~子~~子、~~時~~時、~~代~~代、~~ニ~~ニ、~~比~~比、~~シ~~シ、~~得~~得、~~ル~~ル、~~希~~希、~~漢~~漢、
~~ノ~~ノ、~~史~~史、~~傳~~傳、~~ヲ~~ヲ、~~判~~判、~~別~~別、~~セ~~セ、~~ル~~ル、~~ニ~~ニ、~~対~~対、~~シ~~シ、~~テ~~テ、~~ハ~~ハ、
史、~~傳~~傳、~~ヲ~~ヲ、~~判~~判、~~別~~別、~~セ~~セ、~~ル~~ル、~~ニ~~ニ、~~比~~比、~~シ~~シ、~~テ~~テ、~~ハ~~ハ、~~由~~由、~~証~~証、~~事~~事、
序、~~記~~記、~~辨~~辨、~~別~~別、~~ノ~~ノ、~~類~~類、~~ヲ~~ヲ、~~判~~判、~~別~~別、~~セ~~セ、~~ル~~ル、~~ニ~~ニ、~~至~~至、~~ル~~ル、
テ、~~種~~種、~~類~~類、~~ニ~~ニ、~~於~~於、~~テ~~テ、~~既~~既、~~ニ~~ニ、~~進~~進、~~雑~~雑、~~ヲ~~ヲ、~~極~~極、~~メ~~メ、~~テ~~テ、~~行~~行、
殆、~~ト~~ト、~~凡~~凡、~~テ~~テ、~~実~~実、~~用~~用、~~的~~的、~~ナ~~ナ、~~リ~~リ、~~ニ~~ニ、~~比~~比、~~シ~~シ、~~テ~~テ、~~ハ~~ハ、~~或~~或、
ハ、~~鮮~~鮮、~~語~~語、~~ヲ~~ヲ、~~生~~生、~~シ~~シ、~~所~~所、~~謂~~謂、~~義~~義、~~文~~文、~~ノ~~ノ、~~域~~域、~~ニ~~ニ、~~入~~入、
リ、~~産~~産、~~生~~生、~~シ~~シ、~~見~~見、~~ル~~ル、~~茶~~茶、~~葉~~葉、~~ハ~~ハ、~~亦~~亦、~~ハ~~ハ、~~カ~~カ、~~サ~~サ、~~ル~~ル、
~~漢~~漢、~~ノ~~ノ、~~史~~史、~~傳~~傳、~~ノ~~ノ、~~文~~文、~~ナ~~ナ、~~リ~~リ、~~物~~物、~~ノ~~ノ、~~混~~混、
ト、~~共~~共、~~ニ~~ニ、~~不~~不、~~能~~能、~~已~~已、~~ニ~~ニ、~~昔~~昔、~~所~~所、~~謂~~謂、~~胡~~胡、~~晉~~晉、~~ヲ~~ヲ、~~文~~文、
字、~~ニ~~ニ、~~至~~至、~~リ~~リ、~~其~~其、~~他~~他、~~氏~~氏、~~ノ~~ノ、~~方~~方、~~面~~面、~~ニ~~ニ、~~或~~或、~~多~~多、~~ク~~ク、
響、~~ヲ~~ヲ、~~蒙~~蒙、~~リ~~リ、~~文~~文、~~物~~物、~~ハ~~ハ、~~宋~~宋、~~ニ~~ニ、~~至~~至、~~リ~~リ、~~已~~已、~~ニ~~ニ、
言語、~~ト~~ト、~~文章~~文章、~~ノ~~ノ、~~間~~間、~~ニ~~ニ、~~或~~或、~~多~~多、~~ク~~ク、~~懸~~懸、~~隔~~隔、~~性~~性、
字、~~末~~末、~~ニ~~ニ、~~及~~及、~~テ~~テ、~~ハ~~ハ、~~俗~~俗、~~語~~語、~~ヲ~~ヲ、~~文~~文、~~字~~字、~~ノ~~ノ、~~中~~中、
ハ、~~風~~風、~~靡~~靡、~~リ~~リ、~~盛~~盛、~~ニ~~ニ、~~テ~~テ、~~雅~~雅、~~俗~~俗、~~折~~折、~~衷~~衷、
ハ、~~一~~一、~~種~~種、~~ノ~~ノ、~~文~~文、~~辭~~辭、~~ハ~~ハ、~~生~~生、~~シ~~シ、~~所~~所、~~謂~~謂、
打、~~諱~~諱、~~文~~文、~~之~~之、~~シ~~シ、~~ナ~~ナ、~~リ~~リ、~~(例~~例、~~ヲ~~ヲ、~~詳~~詳、~~シ~~シ、
以、~~テ~~テ、~~俗~~俗、~~ノ~~ノ、~~風~~風、~~ニ~~ニ、~~支~~支、~~那~~那、~~ノ~~ノ、~~散~~散、~~文~~文、~~ニ~~ニ、
申、~~ル~~ル、~~所~~所、~~謂~~謂、~~文~~文、~~ト~~ト、~~古~~古、~~文~~文、~~ト~~ト、~~ニ~~ニ、
至、~~リ~~リ、~~凡~~凡、~~テ~~テ、~~古~~古、~~文~~文、~~ノ~~ノ、~~教~~教、~~興~~興、~~ト~~ト、
ニ、~~於~~於、~~テ~~テ、~~人~~人、~~語~~語、~~字~~字、~~又~~又、~~頗~~頗、~~ク~~ク、
刊、~~行~~行、~~ハ~~ハ、~~我~~我、~~朝~~朝、~~以~~以、~~後~~後、~~ニ~~ニ、
隆、~~盛~~盛、~~ヲ~~ヲ、~~極~~極、~~メ~~メ、~~テ~~テ、~~文~~文、~~字~~字、~~ノ~~ノ、~~毎~~毎、~~年~~年、

物は江戸茶屋に同一、後句ヲ
見、これより支那の演劇曲類ノ
真、確然、以後ニモリ

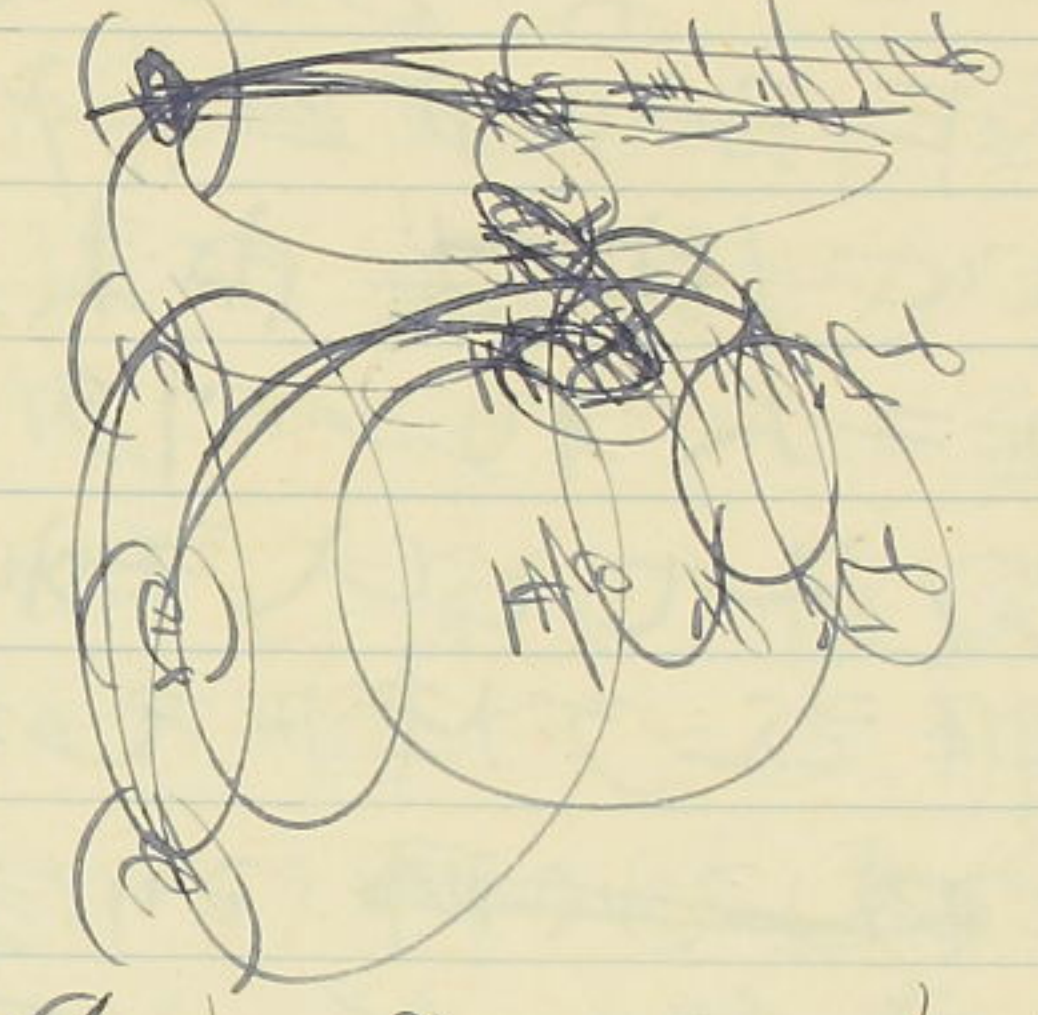
支那小説ノ根元ハ上世街流
巷流ノ時、官宦ノ稗史ト稱スル
ものが書き集めて存申、人々ニ
見世トシテ可成り面白ク見ル
ニ好ムル所ノ所也、三面記子ノ如ク
子ノナリテノ稗史即小説ト呼ベリ
陣行漢ニ唐初ノ唐流大石篇アリ抄
ト下ノ傳ハるる不朝列記又ノ如ク
小説アリ taleトテテ記号ノ集録迄
ヤ深末抄譯文ノ類與ト共ニ併集
直面目ヲ改テも篇ニ出ラレニモビ之
レニ詞條トテ子カハルニモビ、戯曲用
ナリテ元ヨリハ、カテ所作ト演説、及階
級ヲ見ルニ至リカテ事ノ精シキト一
本文ハ入り行論ニモビ

自能劇院

以上ノ概略ハ、由リ支那文存史
時代ヲ分かつ下ノ如ク

第一期 周以上
第二期 上周末
第三期 下周末

第二期 自秦至隋
第一期 秦漢



第一期 魏晉南北朝

第三期 唐宋

第一期 唐文

第二期 宋文

第四期

第一期 清文

第二期 清文

第三期 清文

則中六節ハ缺行ニ至五節ノ字ニ薄
ハリテ防閑之字而之ナリ 昔ハ韓詩魯詩齊詩
等ノ目也孔子刪定レテ韓詩ニ存シテ
韓詩トシテ魯詩齊詩等ニ準シテ之
事ハ秦可漢ニ存マテ一ト亡佚シテ失
レテ漢代何處ノ博士ニ毛萇トシ
テアリ家傳トシテ加ヘテ獻也其ノ三
テ何レトカ今ハ比較ニ由テ之ヲ毛
詩トシテ後漢ノ衛宏トシテ之ニ序ヲ
加ヘ宋ニ至リ朱子ハ傳詩御製刻己
集傳トシテ其ノ旨ヲ經一トシテ詩經ト稱
レテ今ハ至リサレバ我々亦毛詩トシ
古傳詩トシテ毛詩ト朱子 詩經ト兩方行
ハル

(此詩ノ序トシテ言ハルニ如クニ至五節ノ序トシテ
毛詩ノ序ノ旨ノ其ノ詩ノ事實
ヲ記シテハレバ國唯ノ初ニ
及ヒ之ガ道德的功用ト云々唯而如之
德也 風之始也 所以風天下
而正夫婦也 故用之御人 惡用之
邦國焉)ト云々如クニ之ヲ之ノ心
ヲトシテ以テ首節ニ限リ小序ニ引續キテ
詩經トシテ一文字加ヘテ之ヲ大

序トシテ(通例詩ノ序トシテハレテ而高
ヲ併稱シ小序ハ子夏ノ作トシテ大序ハ毛公
ノ作トシテ詩ヲ讀ムニ當テハ極メテ重大ノ事
トセリトシテ其レハ世ノ先證ニコレハ大序
ハ後漢ノ衛宏トシテ之ヲ(通)トシテ之ヲ加ヘ
クシトシテ其ノ字トシテカ如ク小序ヲ漢代人
ノ作トシテ決テ子夏ノ作トシテ之ニ(通)
序トシテ(大序稱頌創毛子夏作從孔子說詩傳子夏)
等トシテ其ノ價值ヲ見レバ大序ハ言フニ及ビ
小序ハ之ヲ後ニ子夏トシテ之ヲ讀ムニ
當テハ毛公ノ作トシテ之ヲ排シテ小序ニ及
ビ使テ其ノ一篇不有 義刺時君風政
ヲ作、不功於格性之自笑ト云々ハ
早見トシテ里巷ノ歌詠ヲ集メテ其ノ何ノ
邊アリテ各篇ニ其ノ某ノ君ノ事ヲ化某ノ妃
ノ事ヲ化シテ政治ヲ刺スニ得テヤ里巷ニ
歌詠ノ榮ニ自笑ト云々トシテ外ニ
~~之~~ 決シテハ(如ク毛公トシテ之ニ準テ漢代
偏因學者ノ氣習ニ其ノ所ノ之
左傳其他トシテ一々之ヲカハシテ事實ヲ當テ
ハメテ之ニ之ヲ序トシテ其ノ旨ニ近世
ノ詩ノ旨ハ(毛公)トシテ宋字ニ及ビ
其ノ序トシテ朱子ノ序トシテ之ヲ世ト
(陳路原トシテ)

意ト見ハシガレバカズト、考證ニテ小序ハ
之ヲ了スルニモ、ナキ也、愚論ノニ世ト
ハ史ニ居ズト、意意トハ利用ノ目的ト、意
ニシテ、凡テハ、如何ニテ作シルモ、
ナラザレバ、カズト、考證ヲ了スルニ、ナク、後ニ
利用ニシハ、可、然意意トハ、如何ナリ
要ニシテ、以上ハ、情、則、意、ニ移ル、南漢字
風、一、意、ニ伴ル、一、現象ナリ、周初樂ニテ
ナリ、用ニシテ、教養ハ、勿論、孔子、之ヲ刪
シ、當時ニテ、詩、書、易、春秋、ニテ、詩、ハ、其
情、一、真、ナル、故、テ、取リ、之、ヲ、樂、ニ、カ、テ、人、ニ、聞、カ
シ、情、ニ、由、リ、テ、人、ヲ、和、セ、ル、ニ、由、ル、意、ハ、故、ト、シ
テ、カ、ル、ニ、由、ル、漢、以後、情、ハ、價、値、ヲ、失、シ、テ
文字、ノ、徒、ラ、ル、也、一、面、ニ、由、リ、テ、言、フ、ニ、由、ル、
故、ニ、由、リ、テ、言、フ、ニ、由、ル、訓、海、ノ、語、ナ、キ、モ、一、ハ、聖
人、之、ヲ、用、ル、ハ、意、ニ、非、ズ、ト、常、強、モ、ル、ナリ
古人、カ、情、ヲ、取、ル、ニ、テ、孔子、人、ノ、意、ニ、由、リ、テ
取、ラ、ル、ニ、由、ル、ナリ

(一) 詩、六、義、之、亦、之、也、而、以、東、子、那
ノ、詩、ニ、ハ、相、ナ、テ、重大、ノ、モ、ト、セ、ル、
其、紀、之、ハ、大、叙、ニ、言、フ、六、義、一、曰、
風、二、曰、賦、三、曰、比、四、曰、興、五、曰、
雅、六、曰、頌、ト、云、ル、之、所以、ハ、内、風、雅

頌、一、三、ハ、早、ク、孔子、刪、定、ノ、ニ、子、而、其、モ、
、分類、始、ト、シ、テ、用、ヒ、ラ、シ、賦、比、興、一、三、ハ、
大、序、ノ、始、メ、テ、加、フ、ル、所、創、但、之、詩、礼、
ニ、已、ニ、六、詩、ノ、目、ナ、リ、テ、大、叙、ノ、數、ハ、斷
ニ、同、シ、ナ、リ、ト、云、ル、ハ、漢、代、ノ、佚、書、ナリ
ト、イ、ハ、バ、大、叙、先、カ、周、礼、先、カ、何、レ、ニ、テ、
大、叙、ハ、漢、以後、ノ、モ、ナ、リ、ト、云、ル、ナリ

カ、行、カ、ル、ハ、如何、ナ、リ、長、哉、ゾ、先、周、雅、頌
ヲ、大、叙、ノ、解、ニ、テ、風、ノ、下、ヲ、風、化、シ、ト、云、ル、
刺、ニ、由、リ、雅、ト、ハ、正、ニ、シ、テ、即、王、政、ヲ、諷、ニ、
謂、也、頌、ト、ハ、盛、德、ヲ、美、ニ、テ、神、明、ニ、告、ル、所
以、也、ト、イ、ハ、~~賦~~ 賦、比、興、ヲ、周、礼、ノ、註、ハ、解
ニ、テ、見、ル、ト、ハ、政、事、ヲ、布、陳、ニ、シ、也、此、ト、ハ、
~~平、生、ノ、失、政、ヲ、直、言、セ、テ、諫、ル、也、~~ 無、ト、ハ、
美、政、ヲ、嘯、ニ、コ、リ、テ、獎、ム、也、ト、云、ル、~~ナリ~~

~~解、ナ、リ、ト、云、ル、~~ 全、樂、六、義、ヲ、実、用、ノ、目的
ニ、コ、リ、テ、解、釈、シ、ル、ニ、由、ル、國、政、ニ、由、ル、
ニ、由、ル、一、石、ノ、極、端、ト、シ、バ、之、カ、正、カ、ズ、ト、見
ル、ニ、キ、ハ、例、ノ、末、子、也、早、風、ト、ハ、里、巷、歌、謡
ノ、作、出、ル、テ、男、女、相、詠、歌、シ、テ、其、情、ヲ、發、シ、
ナリ、雅、頌、ハ、成、周、ノ、郊、甸、邦、采、ノ、用、ル、
ノ、歌、頌、ト、ハ、其、ヲ、敷、陳、シ、テ、直、ニ、之、ヲ
い、ハ、ナリ、比、也、非、彼、ノ、物、ヲ、以、テ、比、ル、

ニ比スル也與トハ先ヅ他物ヲ詔ヒテ以テ
詠スル所ノ詞ヲ引キ起コヌナリト、
今以テ兩端ノ辭類ヲ比較スルニ吾人
ハ言フ迄モナリ朱子ノ見ヨクテ卓見ト
スルモナリ先ヅ風雅頌ノ三ニ於テ見ルニ
古註ノ凡テ之ヲ政化上ノ用方目的の如
ク生じル ~~也~~ 凡トナスト朱子ノ之
ヲ其詩ノ所屬ニ基テルニ又凡トナスト何
シカ原意即孔子ノ意ニ叶ヘリ也ト問ハ
ルニ ~~非~~ 普通ノ人情ヲ言フモ又現ニ國
風トハ各地方ノ存スル所見ルニ風トハ國風
即各地方ノ人情風俗ノ九變ヲ示セル種
々ノ歌風即所謂國風ノ意也 ~~也~~
トシ雅トハ王政ヲ調フ所トシテ孔子
當時周ノ朝會ニ用ヒテ雅樂ノ歌トハ
ヲ禮當トシテ又トハ王政ヲ善シテ神
ニ告グ所トシテ又事實直ニハ九變ナリ
寧ルニ周ノ郊祀ニ用ヒテ頌樂ノ歌
トスルヲ禮當トシテ信ス 露ニ
風雅頌ハ只國風、雅樂歌等凡
そ言フ、然レモ歌等郊祀トハ其ノ分
類ナリトスルニナリ
假令ニ之ハ古註ノ如ク風ハ風化ノ

意、雅ハ正政ノ意、頌ハ贊シテ神
告グル意トスルモ可實ニ於テ甘シムル
迷ナリ 聖孔子ガ之ガ ~~意~~ 用トシテ
タル方類ナリ 固ニ ~~也~~ (利)テ決シテ作者
其人ノ本意ガ如初リ凡テ斯レ也キニハ
非ズ 然レニ古註ノ更ニ以テ是ニテ ~~也~~
ナリ 實ニ孔子ガ利用上ノ後リ附シタル
方類ナリ 凡トナスト孔子ノ之ヲ作
ルニ ~~也~~ 斷ル如キ意義 聖孔子テ作ルニナリ
トシ 刪定者ノ意ニ推シテ作者ニ意ニ
ナリ 杜撰トハ之ニナリ 凡テ一字一句風化ノ
意味ナリ 古註ノ實意の元トナリ
ナリトセリ、之亦人情ノ自然ニ 聖孔子
之知ハ勿ク論、孔子自ラ之ヲ決シテ
如キ偏屈ノ思慮ニ由リテ作者ノハナリ 揚
意ニ併シテ作者ノ方類ナリ 凡トナリ
等ニハハ周禮思慮ノ要(實)ニ徴スルニ
也
次ニ比與トハ之亦古註ノ凡テ政
化ノ方類中ニ寓ル、方類トシテ
心ニ凡トナリトセリ 朱子ノ學ニ比與
トハ其ノ他 詩、雅、頌、各別ト

1771 武系が中二當時 社会此類が
 ぬか=具エカハトトヲスルベシ
 今是ハ三石帯全特=就テハハ 国風ハ
 十五 ~~周~~ ~~周~~ 周 ~~周~~ 周 周 周 周
 万教也 行テ作者モ概シテ ~~周~~
~~周~~ 平氏毎加ハツ 風物モ一トシ
 州ノ人情ノ自發=徴テ最モ其トシ
 千價値アリ又 社会ヲ現象スルモノ
 之ヲシテ 三石帯 ~~周~~ ~~周~~ ~~周~~
 作ルガ好シ 飾毎己小雅ハ 總テ
 樂歌ニテハ 和采ヲ主トシ 大雅ハ 節
 度ノ樂歌ニテハ 花節ヲ主トシ 頌
 ハ 邦風ノ樂歌ニテハ 最モ主
 トシ 頌ノ雅頌=ハ 邦外ニテ太平ノ
 者アリ 周ガ之ニヨリテ 太平ノ節リ以テ 節
 儀=采ニ以テ 祝先ニ告グニ故也 周ノ
 魯雅中=喜節ノ者アリ 周ノ ~~周~~
 即周風ハハ 概シテ 節儀ニ 社会
 品家ノ人ノ觀念ニ 生カレ下民ノ
~~周~~ ~~周~~ ~~周~~ 孔子甲即周ノ 樂節ヲ采ニ
 雅頌ニハ ~~周~~ ~~周~~ ~~周~~ 太平ニテ
 義ヲ國家ヲ成セル事也 周ノ 礼
 法ヲ至ス 節儀ニ 社会ニテ也

礼ノ行ニテ 邦外ニ 禮 禮 禮 禮 禮 禮 禮
 一 節トテ 邦外ニ 禮 禮 禮 禮 禮 禮 禮
 一 節トテ 邦外ニ 禮 禮 禮 禮 禮 禮 禮

- 例ノ二 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)
- (一) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)
 - (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)
 - (三) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)
 - (四) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)
 - (五) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)
 - (六) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)
 - (七) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)
 - (八) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)
 - (九) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)
 - (十) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二) 田ノ一 (二)

直三、敬文、
 第一節 経説
 上 周ノ 敬文ニハ 未ダ 純粋ノ 文字ニハ 未タ

此足幼穉也記録的也
之乎暫古典トテテテ
確也、書易礼ノ三ナニ其外ニ
上周ノ書トテテテ
後世ノ傳也ニテ信譽ニ
礼多トテテニ礼列礼ニ三礼
ニ三易アリテテテテ
トテテテテテテテテテ
書ノテテテテテ

第一章 依託書

上周ノ遺書トテテテテ
礼ノテテテテテテテ
文字ノ一特色ニテテテ
以テテテテテテテ
電大ニテテテテテ
申テテ

上周ノ古書トテテテ
日ニ傳テテテテテ
索九上ノ如テテテ
ハ爾雅山海經、陰符經、
六韜、孫子等ヲテテ
以テ中爾雅ハ周公ノ作ニ
之ヲ増益ストテテテ

字書ノ元祖也
又山海經ハ書ノ後也
地誌的志怪也
書ノハ作テテテ
地理的印業ニ依テテ
礼ノ又テテテ
後ニ詳テテテ
爾雅山海、ニ書ハ依託書
史ノ年代ノ古クテ上周ノ
也ノ比較的ニテテテ

(爾雅ノ例トテテテ)
陰符經ハ黃帝ノ書トテテ
後ニテテテテテ
七也ノ言トテテテ
何子牙子ノ周ノ大ニテ
ニテテテテテ
稱ニ兵書トテテテ
也テテテテテ
似テテテテテ
六ニテテテテ
經ハ周ノ風俗ノ作トテ
レテテテテテ
然、作トテテテ

孔子的时代以后 ~~其~~ 所谓诸子 類 = 属
又 其 思想 已 列 其他 諸 書 卷 末 節
= 黃帝 神農 等 名 稱 依 託 (也 吧)
P. 12 漢 信 言 = 足 了 之

其 三 節 畫 孔 易
(10 稿)

其 四 ~~其 五~~ 信 言
(10 稿)

#

其 二 下 周 之 字
其 一 信 言
(10 稿)

其 二 思 想 界 大 概
(10 稿)

其 三 取 文
一、史 傳 評 議 / 文
二、小 說 文

(10 稿)

其 三 信
其 六、史 籍 / 信 華

其 二 期 自 秦 至 六 朝

其 一、秦 漢 文 字
(10 稿)

其 一、概 論 (10 稿)

其 二、文 字 史

字 體 / 意 義 (10 稿)
六 書 / 字 (稿)

其 三 斯 六 書 / 說 八 成 立 以 此 七 書 之
= 其 內 象 形 / 指 示 / 會 意 / 三 者 八 象 形
之 排 成 / 亦 如 列 筆 之 以 此 一 行 =
歸 之 字 聲 = 到 行 象 形 / 範圍 = 或 後
受 行 字 符 / 互 理 以 混 入 也 一 不 可
又 信 言 註 一 = 八 實 之 文 字 排 成
/ 字 理 = 亦 之 之 行 言 語 荒 遠 /
方 指 ~~其 中~~ = 属 入 廿 以 行 注
之 以 此 字 解 又 字 之 三 十 年 也 / 意 義
區 = 象 形 所 行 範圍 亦 出 之
~~其 中~~ 一 系 理 = 本 之 此 字
體 / 概 論 = 意 義 之 區 以 此 行 記 之
一 之 他 也 / 亦 以 之 象 形 以 奇
符 = 移 以 / 亦 實 十 之 只 信 = 自 矣 /
勢 = 既 以 行 字 符 / 其 理 以 混 入 之 若
以 八 象 形 / 意 義 大 = 其 行 字 符
亦 奇 符 = 入 之 以 此 以 此 要 之 以 根
本 / 其 理 以 依 矣 以 行 象 形 以 行 信
之 以 也 象 形 以 字 符 以 本 本 也

故御意(漢)ト行=アリ蓋之是戦乱
1段ヲ定ムル此(漢)情味ハ是(比)
方面ニ感傷多カリシ也

七言詩、如ハ同(武帝)世三十二年
之柘梁臺、建築新=成リ常郡臣

9層行各人一句、~~ハ、~~聯句ヲ作ル
也、~~此(比)柘梁臺(武帝)世詩句、柘~~
~~梁臺(武帝)世詩句、柘~~

其(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

其(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

二(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘
梁臺(武帝)世詩句、柘梁臺(武帝)世詩句、柘

父説始太史令トナリ修史ノ志アリ果
ク公行死ス隱中又其職ヲ繼フ
壯時天下ヲ歴觀ニ所謂名山大
川ヲ觀テ又才ヲ養ヒ後年李陵ノ
二國ニテ獄ニ入リ策廣テ史記ヲ
依リ父ノ意ヲ成セリ~~其~~ト行
史記ノ材料トナリ~~ハ~~在~~其~~修~~其~~修
國語、世本、~~年~~野國策、楚
漢書秋序及當時ノ付録トナリ稱セ
ル~~ル~~解裁ノ本紀、書、書、世
家、列傳等ニ合ルテ一總ノ紀付
録ナリ也リ蓋シ支那ニ於テ歴史ガ
石~~類~~類ノ解裁ヲ經~~ル~~ル~~ル~~初
了及ノ性質ニシテ史トシテ~~モ~~國則
極值アリト最モ史記ノ長ク~~ハ~~所ハ
文學ニナリ然ル中列傳ニ於テ文學ノ計稱
也~~ル~~本紀~~世本~~本紀
アリ~~了~~及~~初~~紀中~~門~~一層ヲ叙
シ~~ル~~一~~文~~ハ~~山~~陽~~之~~ヲ~~讀~~行~~天~~
地~~尚~~世~~一~~一~~文~~學ト
ナリ蓋シ~~紀~~叙~~子~~又~~ト~~行~~大~~所~~細~~所
ニ~~遺~~憾~~ナ~~リ~~其~~其~~子~~也~~ハ~~所~~留~~記
是~~レ~~其~~他~~書~~世~~紀~~等~~ニ~~モ~~如~~テ~~

十キ~~北~~之~~要~~之~~心~~ニ~~漢~~ノ~~散~~文~~ハ~~一~~體~~ニ
以~~テ~~教~~フ~~ベ~~シ~~
四、武帝期以後ノ文學

two associated objects grow, as it were, together; the interesting portion of its quality over the whole; and thus things not interesting in their own right become an interest which becomes a real and as strong as that of any naturally interesting thing. Positive or spontaneous attention; Active or voluntary attention;

(Outline of Psychology - Kemp)

Mind has realized that the 'learning' of an idea is not identical with its attentive experience, and that the conditions of attention, are not given with the interest and external stimuli which

(Talks on Morphology and Etymology)
William Jones

In its successive mutations of
one field of consciousness, the
piece by which one disposes
into another is often very
gradual, and all sort of
inner rearrangement of
contents ~~occurs~~ occurs.
Sometimes the form remains
but little changed, while its
margin alters rapidly. Some-
times the form alters, and the
margin stays, sometimes form
and margin change place. Some-
times again, abrupt alterations
of the whole field occur.
There can be seldom be a sharp
description.

Any object not interesting in
itself may become interesting
through ~~the~~ reasoning associated
with an object in which an
interest already exists. The

32 pp
33 pp
34 pp
35 pp
36 pp
37 pp
38 pp
39 pp
40 pp
41 pp
42 pp
43 pp
44 pp
45 pp
46 pp
47 pp
48 pp
49 pp
50 pp
51 pp
52 pp
53 pp
54 pp
55 pp
56 pp
57 pp
58 pp
59 pp
60 pp
61 pp
62 pp
63 pp
64 pp
65 pp
66 pp
67 pp
68 pp
69 pp
70 pp
71 pp
72 pp
73 pp
74 pp
75 pp
76 pp
77 pp
78 pp
79 pp
80 pp
81 pp
82 pp
83 pp
84 pp
85 pp
86 pp
87 pp
88 pp
89 pp
90 pp
91 pp
92 pp
93 pp
94 pp
95 pp
96 pp
97 pp
98 pp
99 pp
100 pp

